

ナットク! 気になっていたあの言葉

今月の気になっていたあの言葉：【ポートマッチ】

有権者が自分の政治思想に最も近い政党や候補者を見つけるためのオンラインサービスのこと。政党や候補者などに関するアンケートを送り、その回答をもとにデータベースを作成。有権者が同じアンケートに回答することで考え方の一致度を測定する。選挙時に報道機関などが提供するケースが多く、利用者が急増している。

井戸端会議でも使えるネタ話

今月のネタ話：【ミドル・シニア層がけん引する男性美容市場の新時代】

日本の男性向け化粧品市場が活況を呈しています。市場規模は5年間で約1.8倍に拡大し、2024年には約497億円に達しました。この成長を特に支えているのがミドルからシニア世代です。コロナ禍でオンライン会



議が増えたことにより、画面に映る自分の顔を意識する男性が増加。またSNSを通じて男性の美容情報が当たり前に発信されるようになったことも、化粧品を使う習慣化を後押ししました。「あらゆる手で老化を止める」と話すシニア世代や、美容を「自己投資」と捉える若い世代の声も聞かれます。近年では政治の世界にもその波が押し寄せ、前回の参議院選挙でも日焼け止めは当たり前。スタイリストをつけ、眉毛を整える政治家も増えているとか。こうした意識の変化は、もはや外見を整えることに性別は関係なく「自身の価値を高める行為」として広く認識され始めたことを物語っています。今や美容トレンドは「ジェンダーレス」へ。男性の美容文化は今後さらに多様化し、拡大していくでしょう。

意外に知らない 暦の話

来る12月12日は「漢字の日」。「いい字（12）一字（12）」の語呂合わせから、日本漢字能力検定協会が「毎年“いい字”を少なくとも“一字”覚えてほしい」という願いを込めて制定しました。ところで年末、1年の世相を表す漢字一字が京都の清水寺で揮ごうされるのをご覧になったことのある方もいらっしゃるでしょう。あの「今年の漢字」が発表されるのも12月12日頃、週末が重なると数日後になることもあります。「漢字の日」にちなんでいるのだとか。昨年の「今年の漢字」は五輪イヤーということもあり「金」。これは応募総数約22万票から1万2千票以上を集めて選ばれました。「漢字の日」の制定、また「今年の漢字」の始まりも1995年ということで、今年はなんと30周年。2025年を振り返り、自分なりの漢字一字を応募するもよし「今年の漢字」を予想するもよし。今年は記念日に向けて、日頃からお世話になっている漢字に思いをはせてみませんか。

気軽にLet's 英会話

今月のキーワード：【vaccine】

このところ「はしか」発症のニュースをよく耳にしますね。この病気の原因である“virus”「ウイルス」は「ヴァイラス」と発音します。「はしか」は“measles”といい、日本では“rubella”「風しん」と混合のMRワクチンで予防接種が行われていますが、イギリスやアメリカでは“mumps”「おたふく風邪」も加えたMMRワクチンが使用されているようです。“vaccine”「ワクチン」は「ヴァクシーン」と発音し「ワクチン反対派」は“anti-vaxxer”「アンティヴァクサー」といいます。

デジタルデータに変換して保存すると便利なの
の代表は写真ですが、郵便物や書類、取扱説明書、病院の書類や健康診断の結果などもデジタルの保存に向いています。スマホのスクリーン機能や専用アプリでPDF化してクラウド上でフォルダ保存。管理も簡単です。

知って得する知恵袋